



加賀まりこ 塚地武雅

# 梅切らぬバカ

渡辺いっけい 森口瑤子 斎藤汰鷹  
徳井優 広岡由里子 北山雅康 真魚 木下あかり 鶴田忍  
永嶋終吾 大地泰仁 渡辺穂 三浦景虎 吉田久美 辻本みず希  
林家正蔵 高島礼子  
監督・脚本:和島香太郎

©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

2026 5/23 (土) 10:00-11:30

会場 南市民センター 文化ホール 定員 800名 申込 不要 料金 無料

問い合わせ・申込

福岡市立南市民センター

福岡市南区塩原2-8-2

TEL:092-561-2981 FAX:092-511-9721

e-mail:info@minami-tk.jp

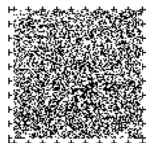
HP:https://minami-tk.jp

※駐車場は、台数に限りがあります。  
公共交通機関でのご来場をお願いします。  
◆西鉄バス「南市民センター前」下車すぐ  
◆西鉄大橋駅より天神方面へ徒歩約15分



Uni-Voice (ユニボイス)

ユニボイスとは  
日本視覚障がい情報普及支援協会が開発した音声コードです。専用アプリで読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。





忠さん  
ちゅうまう

几帳面で、馬好き

ちょっとぴり辛口の占い師

珠子さん

一緒に笑って、たまに怒って涙して。  
このありふれた毎日が宝物。

都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が50回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描く本作。包容力あふれる母親を演じるのは、54年ぶりに主演を務める加賀まりこ。軽口を叩きながらも、小柄な身体で大きな息子の世話をする姿はとてもチャーミング。だからこそ、やがて訪れる“息子が1人で生きる未来”を案ずる横顔が、より一層切ない。息子役にはNHK連続テレビ小説「おちよらん」など俳優としても活躍中の塚地武雅(ドラゴン)。地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、親子の絆と深い愛を描き、あたたかな感動をもたらす。

いやアエエ、明日ははやアア子。  
この親子の日常は続く。  
どうか見守って下さい。  
加賀まりこ

### 父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは…？

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが…。



ことわざ「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」とは？

樹木の剪定には、それぞれの木の特性に従って対処する必要があるという戒め。転じて、人との関わりにおいても、相手の性格や特徴を理解しようと向き合うことが大事であることを指す。

要申込

交流カフェ 11:30-12:30



映画をご覧になった後、もう少し誰かとお話したいという方に、気軽に参加できる交流の場を設けました。お茶を飲みながら、参加者の方々とうったりと時間を過ごしませんか？



交流カフェのお申し込みはこちらから！